

SHARP®

取扱説明書

このたびは、シャープデータレコーダ CZ-8RL1をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

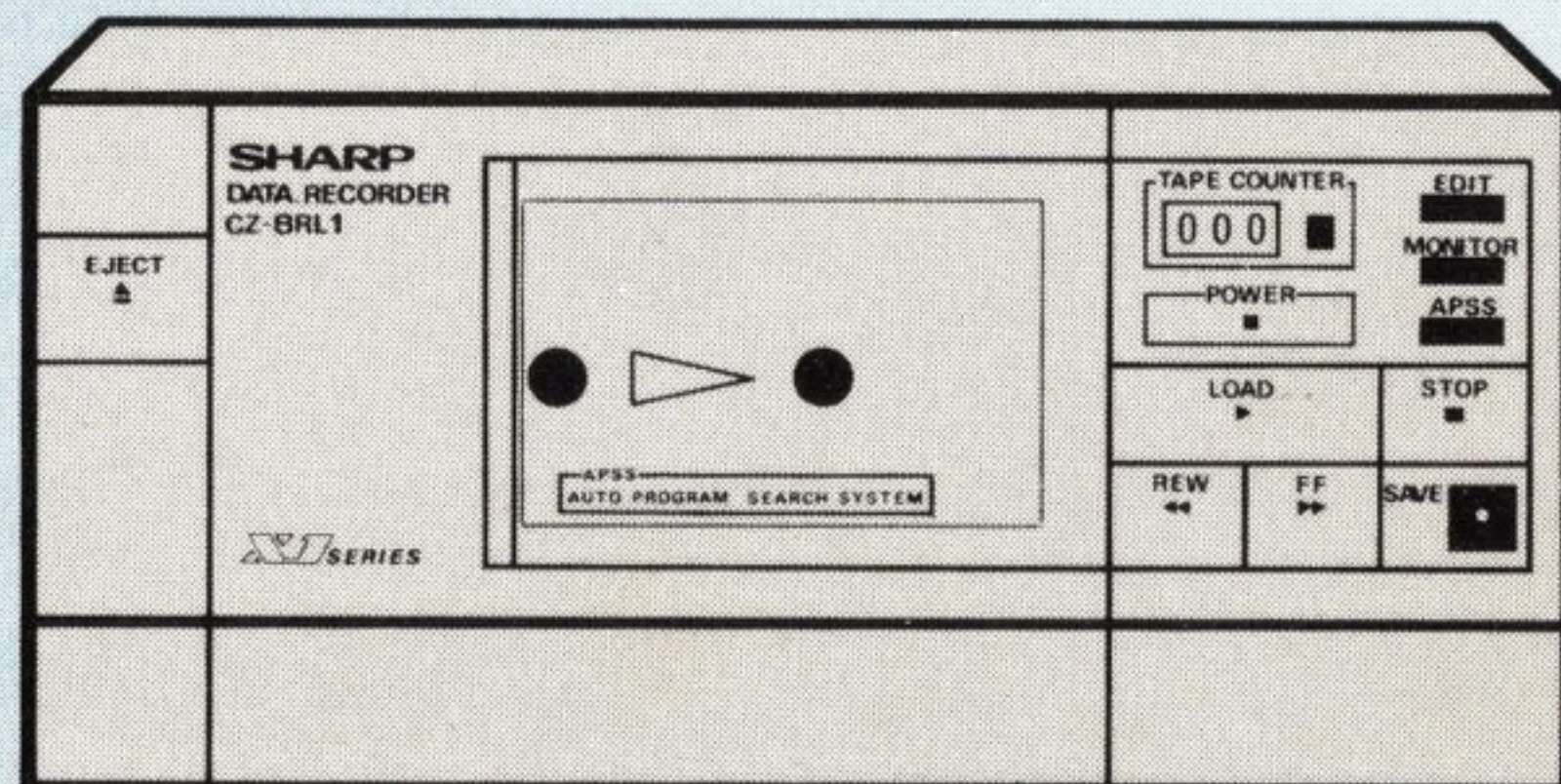
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機を正しくお使いください。

なお、この取扱説明書は保証書、シャープお客様ご相談窓口一覧表とともに、大切に保存してください。

万一、ご使用中にわからないことや具合の悪いことが生じたとき、きっとお役に立ちます。

シャープデータレコーダ
形名
CZ-8RL1

上手に使って上手に節電



データレコーダCZ-8RL1の概要

1. 製品概要	2
2. 特長	2
3. 製品構成	2
4. 設置・使用上の注意事項	3～4
5. 各部の名称とはたらき	5～7
6. パーソナルコンピュータとの接続	8
(1)シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cとの接続	8
(2)CZ-851C/852C以外のパーソナルコンピュータとの接続	8

操作方法

1. シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cの専用データレコーダとして使用する場合	
(1)LOAD(再生)をするには	9～10
(2)SAVE(録音)をするには	10
(3)APSS機能	11～12
(4)コンピュータコントロール機能	13
2. シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852C以外のパーソナルコンピュータ用として使用する場合(パーソナルコンピュータCZ-802Cも同様)	
(1)LOAD(再生)するには	14～15
(2)SAVE(録音)するには	15～16
(3)APSS機能	16
(4)無録音部分をつくるには(EDIT機能)	16

簡単なお手入れのしかた

故障とお考えになる前に

保証とアフターサービス

仕 様

1 製品概要

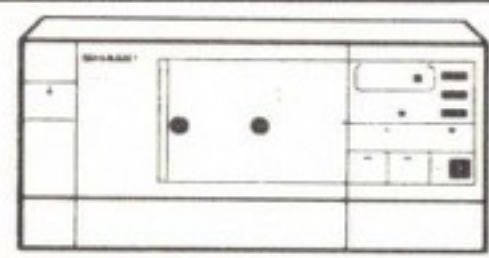
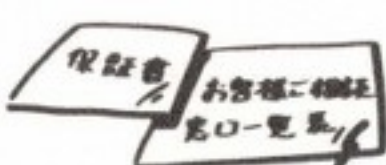
- 専用コントロールケーブル(DIN7ピン)を接続することによって、シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cから、BASICコマンドによってコントロールができます。
- 本機は、各社のパーソナルコンピュータの周辺外部メモリとして、オーディオ用カセットテープにプログラムやデータを記録・保存できます。また、市販のプログラムテープの読み出しもできます。

2 特長

- (1)マイコン搭載により、フルロジックコントロール可能
- (2)コンピュータコントロール機能
シャープパーソナルコンピュータCZ-851Cまたは、CZ-852Cの専用データレコーダとして使用することにより、コンピュータ側からBASICコマンドによってデータレコーダのコントロールを行なうことができます。
- (3)APSS(Auto Program Search System)機能
プログラム間の無録音部分を検出して、プログラムの頭出しを行ないます。
- (4)新機能セーブポジションサーチ機能
セーブ可能な位置を捜し、頭出しを行ないます。
- (5)転送レート切換スイッチ付
本機は、高速2700ボア対応可能なデータレコーダであり、またパーソナルコンピュータCZ-802C/851C/852C用(HIGH)とその他のコンピュータ用(LOW)との転送レート切換も可能です。
- (6)位相切換スイッチ付
- (7)EDITスイッチ付
APSS時に必要な無録音部分をつくることができます。
- (8)モニタースピーカー内蔵(ボリューム付)

3 製品構成

CZ-8RL1のパッケージ内容は次の通りです。パッキングケースより取り出す際は同梱物がそろっていることを確認してください。

① データレコーダ本体	
② 取扱説明書	
③ 保証書、 お客様ご相談窓口一覧表	

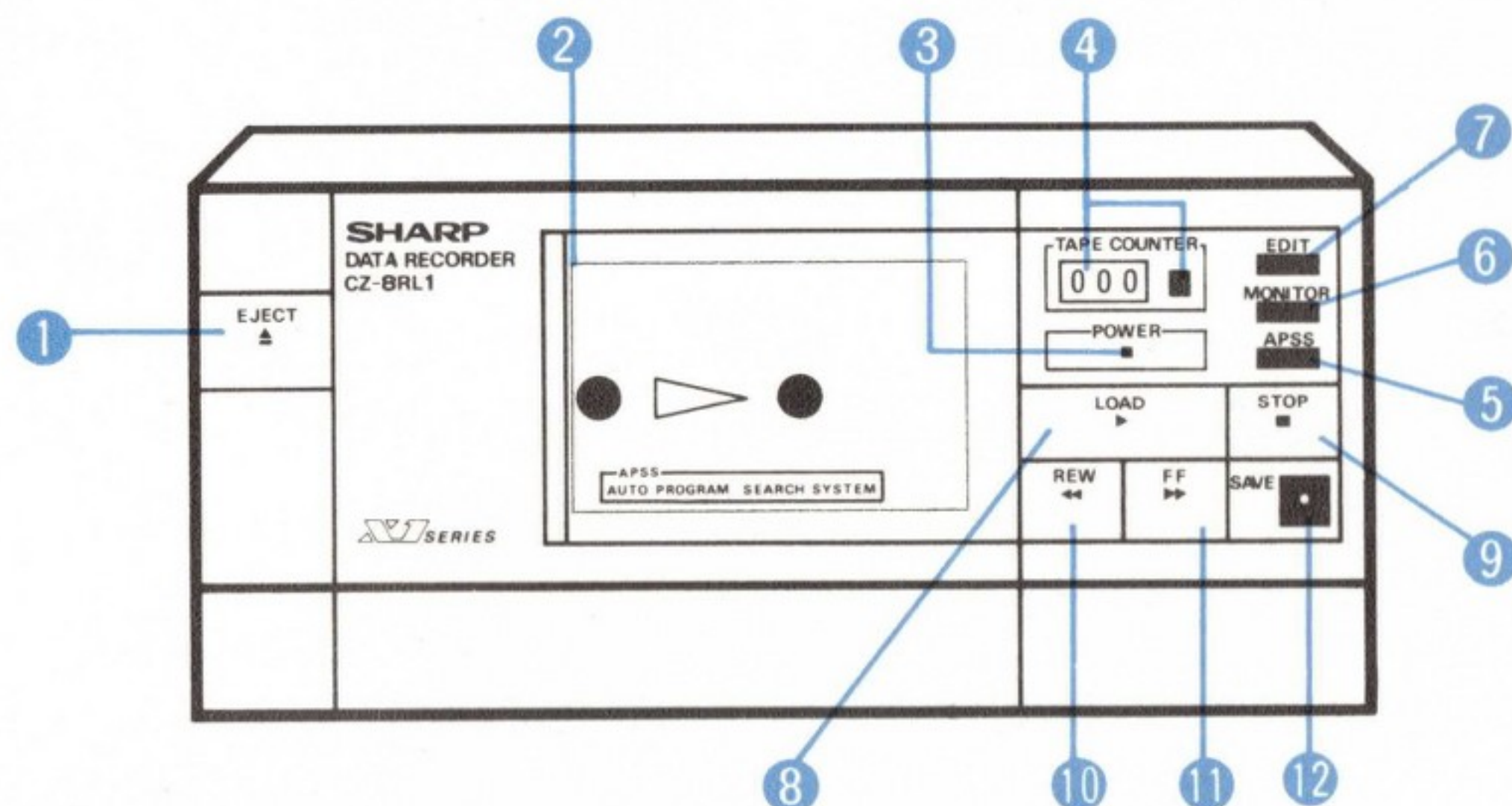
4 設置・使用上の注意事項

電源コードについて	電源コードを机やイスの下に敷いたり、ものにはさんで傷をつけないようご注意ください。電源コードに傷がついたまま使用すると危険です。また電源コードを抜くときはかならず差し込みプラグを持って抜いてください。
電源電圧について	電源電圧はAC100V(50Hz/60Hz)でご使用ください。電源電圧が極端に高かったり、低かったりすると故障の原因になり、十分性能が発揮できない場合があります。このようなときは、お買いあげの販売店あるいはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。
入出力の信号について	本機は入力された信号を波形整形してからテープに録音しています。また再生された信号も同様に処理して再生されます。本機はデジタル信号専用機ですので、CMT IN(MIC)へのボイスファイリング、ミュージック等、アナログ信号を録音しても、再びCMT OUT(EAR)からアナログ信号として出力はされません。
次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。	① 湿気やほこりの多い場所 ② 温度の高い場所（直射日光の当る場所、暖房器具の近くなど） ③ 周囲温度が0℃～40℃の範囲を越える場所 ④ 強い磁力の発生する近く（テレビ、スピーカー、モーターなど）
水や異物について	本機の内部に水や液状のもの、針やピンなど金属類が入ったまま使用すると危険です。異物が入らないよう注意し、万一水や液状の異物が入った場合すぐに電源差し込みプラグを抜き、お買いあげの販売店あるいはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

衝撃について	本機は、精密な電子部品でできています。落したり、物を当てたりして衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
電源の「入一切」	スイッチの入った状態で電源差し込みプラグを抜いたり差したりすると、故障の原因となります。
カセットテープについて	①カセットテープの種類 本機に使用するカセットテープはノーマルテープを使用してください。クロームテープやメタルテープは正常なロード、セーブができませんので使用しないでください。また、C-120タイプのテープは薄い ため、キャプスタンやピンチローラーに巻きついたり、伸びたり、変形したりしやすいので、デジタル信号の録音再生には適しません。なお、本機では、APSS動作安定のため、C-15タイプのテープを推奨します。 ②カセットテープの取扱い ●テープにたるみがあるときは、鉛筆などで巻き取ってから使用してください。たるんだまま使用するとテープが巻き込まれ、大切なテープをいためてしまいます。 ●テープ面に手を触れたり、汚したりしないでください。 ●テープを引き出さないでください。 ●未使用のテープは一度、FF、REWしてテープをほぐしてから使用することをおすすめします。 ●カセットの誤消去防止用のツメをドライバー等で折り取っておくと、データレコーダでSAVE（録音）されません。大切なプログラムを誤って消してしまうことがあります。再び録音するときは穴をセロハンテープで貼り、ふさいでください。また、すでに記録してあるテープを再び使用する場合は、必ず消去してから使用してください。 ③市販のカセットテープは 著作権法上、権利者に無断では使用できませんので、注意してください。

5 各部の名称とはたらき

前面部



①カセット取出しボタン(EJECT)

電源ON時は、軽く押すと取り出せます。また、さらに押し込むと電源のON/OFFにかかわらず、取り出しできます。

②カセットケース

③ **POWER** インジケータ

背面の電源スイッチをONにすると、赤色に点灯します。

④テープカウンタ(COUNTER)/リセットボタン

リセットボタンを押すと、テープカウンターの数字が“000”になります。テープ走行と共に数字が変わりますので、プログラムやデータの範囲をメモしておく整理する際、便利です。

⑤APSSボタン(APSS)

プログラム間の無録音部分を検出して、プログラムの頭出しを行なう時に使います。詳しい操作方は11ページの“APSS機能”を参照してください。

⑥モニターボタン (MONITOR) ON【】・OFF【】

プログラムやデータを音で確認したい時に使います。このボタンを押すとスイッチがロックされ、ボリュームで調整された音量がスピーカーから出ます。再び押すとロックが解除され、スピーカーからの音がミュートされます。

⑦EDITボタン (EDIT)(マニュアル操作モード時のみ有効)

APSS時に必要な無録音部分をつくる時に使用します。このボタンを押している時間だけ無録音部分がつくれます。ボタンをはなせばエディットが解除されます。

⑧LOADキー (LOAD▶)(マニュアル操作モード時のみ有効)

プログラムやデータをLOAD(再生)する時に使います。

リモートジャックを使用している場合、このキーを押すとインジケータが緑色に点滅し、LOADコマンド待機状態となります。またリモートジャックを使用していない場合は、インジケータが緑色に点灯しLOAD状態となります。

⑨STOPキー (STOP■)

テープの走行を止める時に使います。

⑩REWキー (REW◀◀)

テープを巻戻す時に使います。このキーを押すとインジケータが緑色に点灯しREW(巻戻し)状態になり終了後停止して解除されます。

APSSの時は、インジケータが点滅になります。

⑪FFキー (FF▶▶)

テープを早送りする時に使います。このキーを押すとインジケータが緑色に点灯し、FF(早送り)状態になり、終了後停止して解除されます。

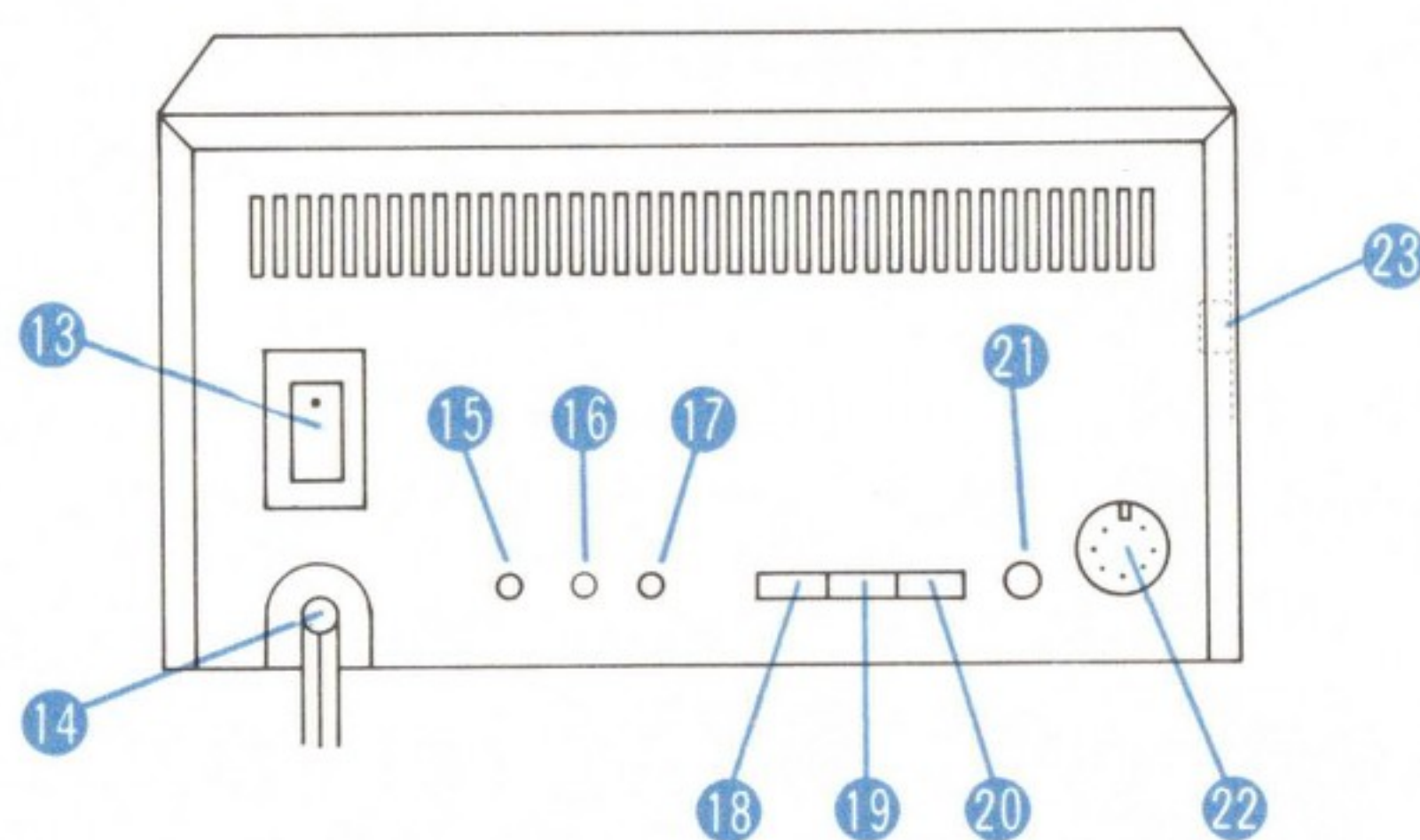
APSS時は、インジケータが点滅になります。

⑫SAVEキー (SAVE)〔マニュアル操作モード時のみ有効〕

プログラムやデータをSAVE(録音)する時に使います。リモートジャックを使用している場合、このキーを押すと、インジケータが赤色に点滅し、SAVEコマンド待期状態となります。また、リモートジャックを使用していない場合はインジケータが赤色に点灯し、SAVE状態となります。

なお、使用しているテープのライトプロテクト用のツメが折られている場合は、カセットケースがひらき、EJECT状態となります。

後面図



⑬電源スイッチ (POWER)

ON 

OFF 

⑭電源コード AC100V 50Hz/60Hz

⑮出力ジャック (CMT OUT/EAR)

テープをLOAD(再生)する時、出力を取り出すジャックです。(φ3.5)

⑯リモートジャック (REMOTE)

本機のモーターを外部からON/OFFするジャックです。(φ2.5)

⑰入力ジャック (CMT IN/MIC)

プログラムやデータをテープにSAVE(録音)する時の入力ジャックです。(φ3.5)

⑱位相切換スイッチ (PHASE)

コンピュータの記録方式、あるいは市販ソフトテープの録音状態によりLOADが正常に行なわれない時に、波形の位相をノーマル(⌈⌋)、リバーズ(⌋⌋) のどちらか良い方に切り換えます。なおLOAD中には切り換えないでください。

また、通常はノーマル(⌈⌋)にセットしておいてください。

⑲ボーレート切換スイッチ (BAUD)

本機とパーソナルコンピュータ間の転送レートに応じて、スイッチを切換えます。シャープX1シリーズのパーソナルコンピュータは、転送レート2700ボーなので、CZ-802C/851C/852Cに本機を使用する場合は、このスイッチをHIGH(⌈⌋)にしてください。また、それ以外のパーソナルコンピュータに使用する場合は、LOW(⌋⌋)にしてください。なお、LOAD中は切り換えないでください。

⑳モード切換スイッチ (MODE)

シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cに使用する場合(コンピュータコントロールモード) とその他のコンピュータに使用する場合(マニュアル操作モード) との切り換えを行ないます。パーソナルコンピュータCZ-851C/852Cと専用ケーブル(DIN7ピン) で接続し、コンピュータコントロールモードで使用する場合は、このスイッチをCOMPUTER(⌈⌋)に、その他のコンピュータ(CZ-802Cを含む) と市販のCMTケーブルで入出力ジャック、リモートジャックを接続して使用する場合は、スイッチをMANUAL(⌋⌋)にしてください。

なお、このスイッチがCOMPUTER(⌈⌋)になっていると、本機のLOAD、SAVEキー操作を受けつけません。

㉑モニターボリュームつまみ (MONITOR VOL)

LOAD中のスピーカーの音量を調節します。右に回すと音が大きくなります。また、マニュアル操作モードで使用する場合は、このつまみはLOADレベルの調節も兼ねています。したがって、LOADレベルに影響しますので、特に注意してください。

㉒コンピュータコントロールジャック (COMPUTER CONTROL)

シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cと本機を専用ケーブル(DIN7ピン) で接続するためのジャックです。

㉓スピーカー

6 パーソナルコンピュータとの接続

(1) シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cとの接続

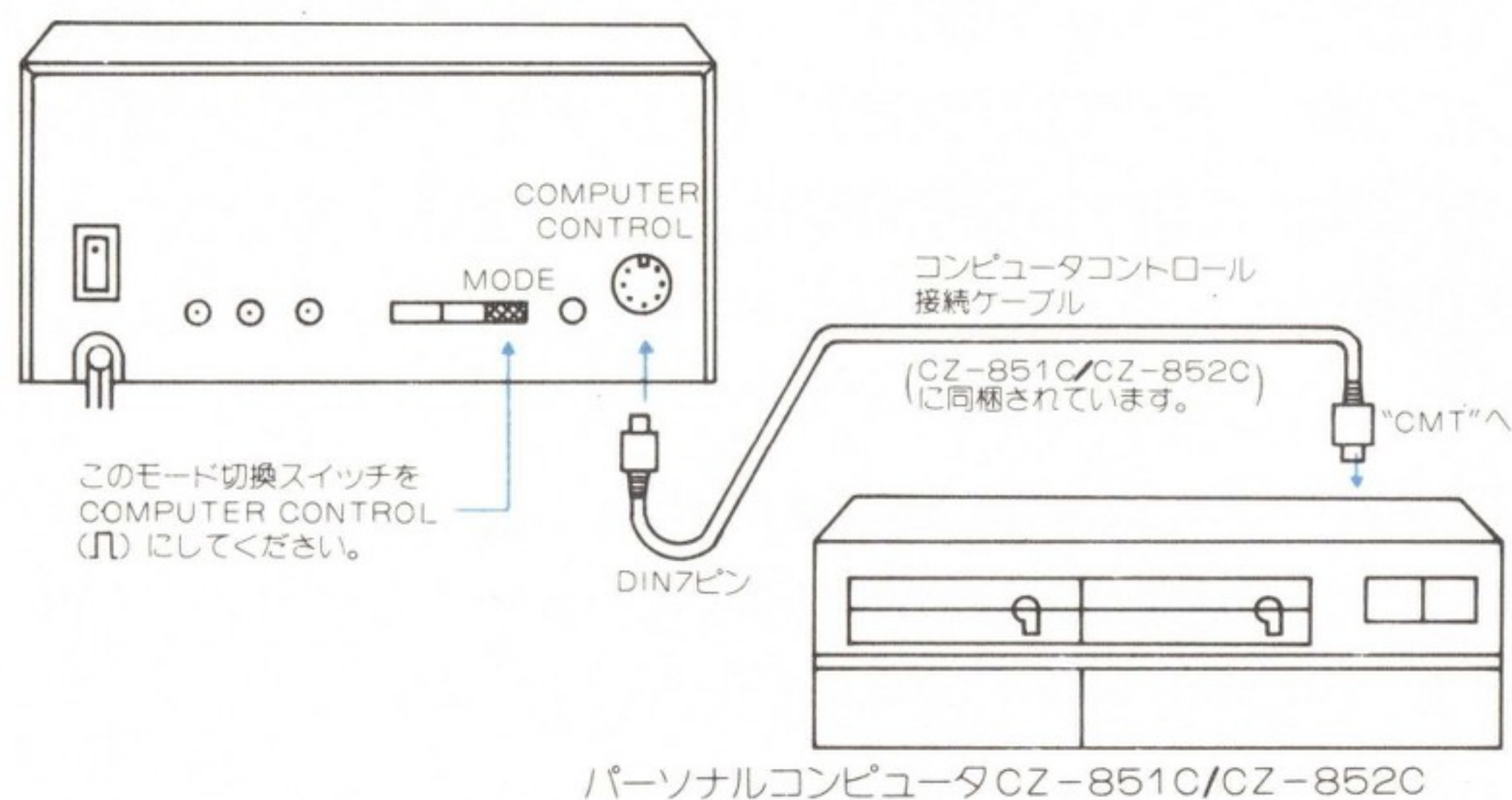
- パーソナルコンピュータCZ-851C/852Cに同梱されている専用データレコーダケーブル(DIN7ピン)で、本機の“COMPUTER CONTROLジャック”とパーソナルコンピュータの“CMTジャック”を接続します。

なお、接続はコンピュータと本機の電源を切ってから行なってください。電源を入れたまま行なうと、誤動作の原因となります。

- セット背面のモード切換スイッチ(MODE)をかならず、COMPUTER〔J〕にしてください。

〔ご注意〕

- “専用データレコーダケーブル”(DIN7ピン)と“テレビコントロールケーブル”(DIN8ピン)をまちがわないよう注意してください。



(2) CZ-851C/852C以外のパーソナルコンピュータとの接続

(シャープパーソナルコンピュータCZ-802Cも同様)

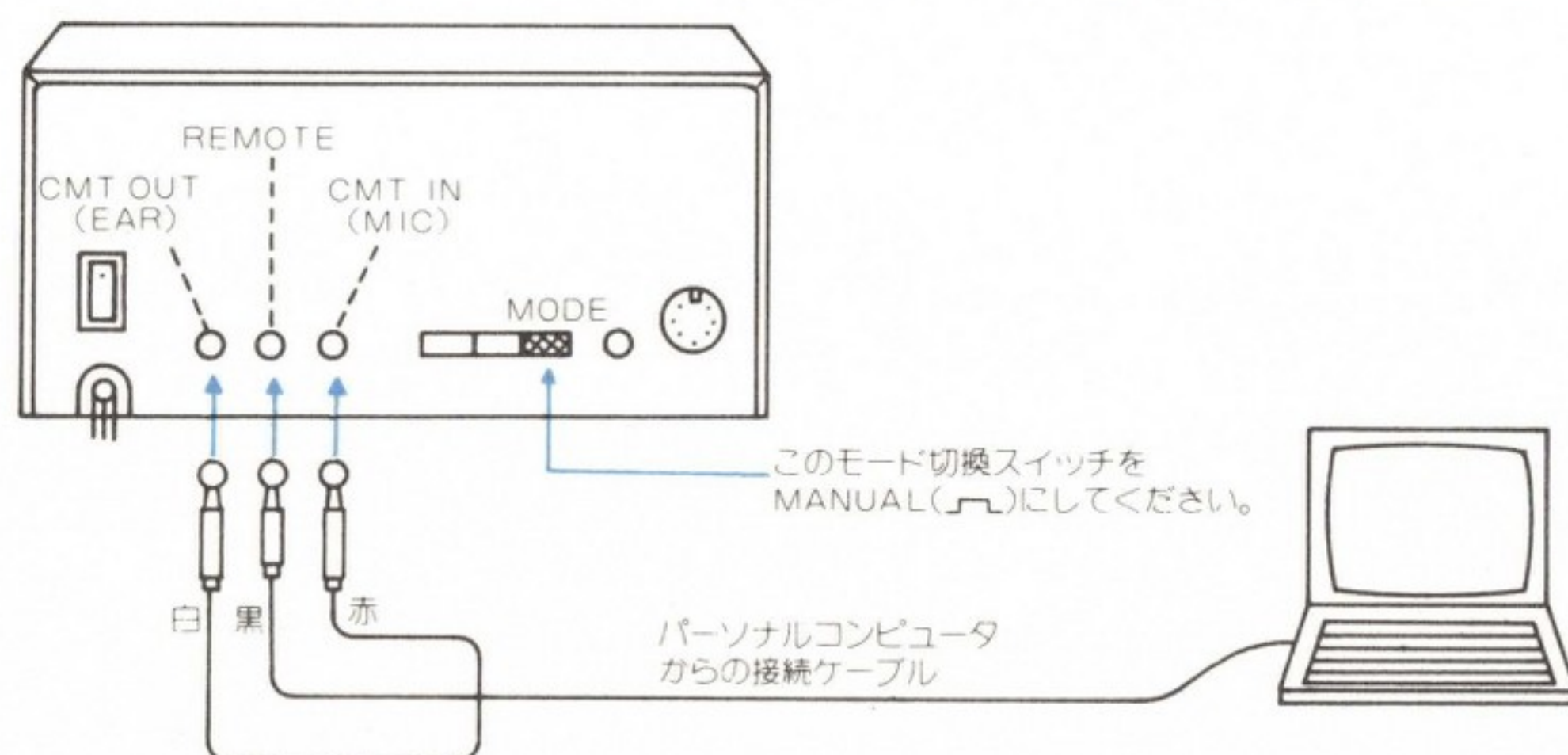
- 市販されているCMT接続ケーブルは、赤、白、黒のプラグに色分けされています。それぞれ、次のように接続してください。

赤……………入力ジャック CMT IN (MIC)

白……………出力ジャック CMT OUT (EAR)

黒……………リモートジャック REMOTE

- モード切換スイッチ(MODE)は、かならずMANUAL〔J〕にしてください。

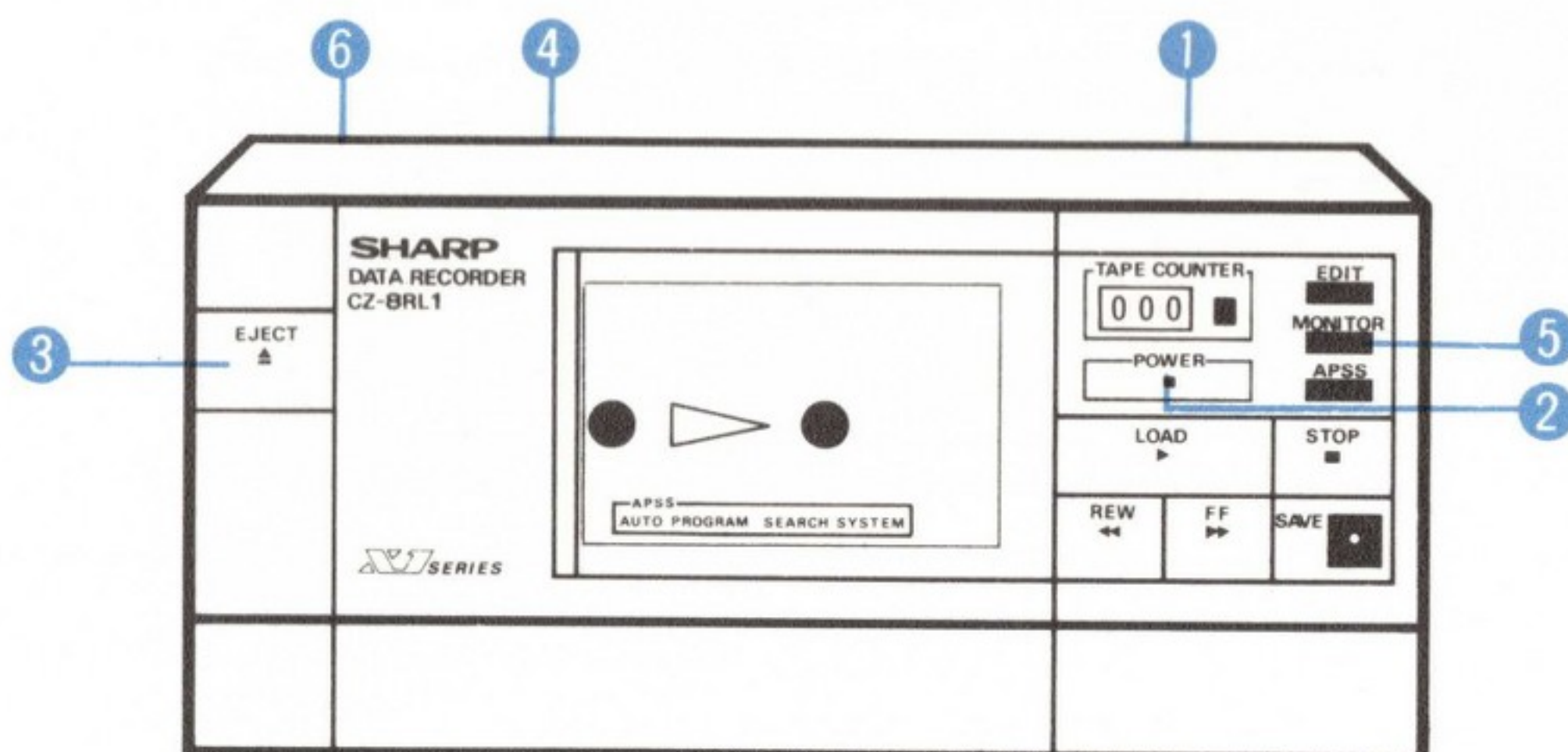


1 シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cの専用データレコーダとして使用する場合

各操作を行なう前に、8ページの“シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cとの接続”に従い、もう一度確認してください。

(1) LOAD(再生)をするには

番号の順に操作をしてください。



- ①セット背面の電源スイッチを押して電源を入れます。
- ②電源が入れば、インジケータが点灯します。
- ③カセット取出しボタン(EJECT)を押してカセットケースをあけ、テープを入れます。
- ④セット背面のスイッチを次のように設定します。
 - フェーズ : ノーマル [ノーマル]
 - ボレート : ハイ [ハイ]
 - モード : コンピュータ [コンピュータ]
- ⑤テープにSAVE(録音)されている、プログラムやデータを音で確認したいときは、MONITORボタンをON[ON]にします。
- ⑥セット背面のMONITOR VOLつまみで、音量を調節します。
- ⑦(i) BASIC起動時からのLOAD

パーソナルコンピュータ側で、LOADコマンドを実行します。
すなわち、

LOAD "CAS:ファイル名"

または LOADM "CAS:ファイル名" (マシン語の場合)

LOADインジケータが点灯し、実行しおわると、インジケータが消え、停止状態になります。

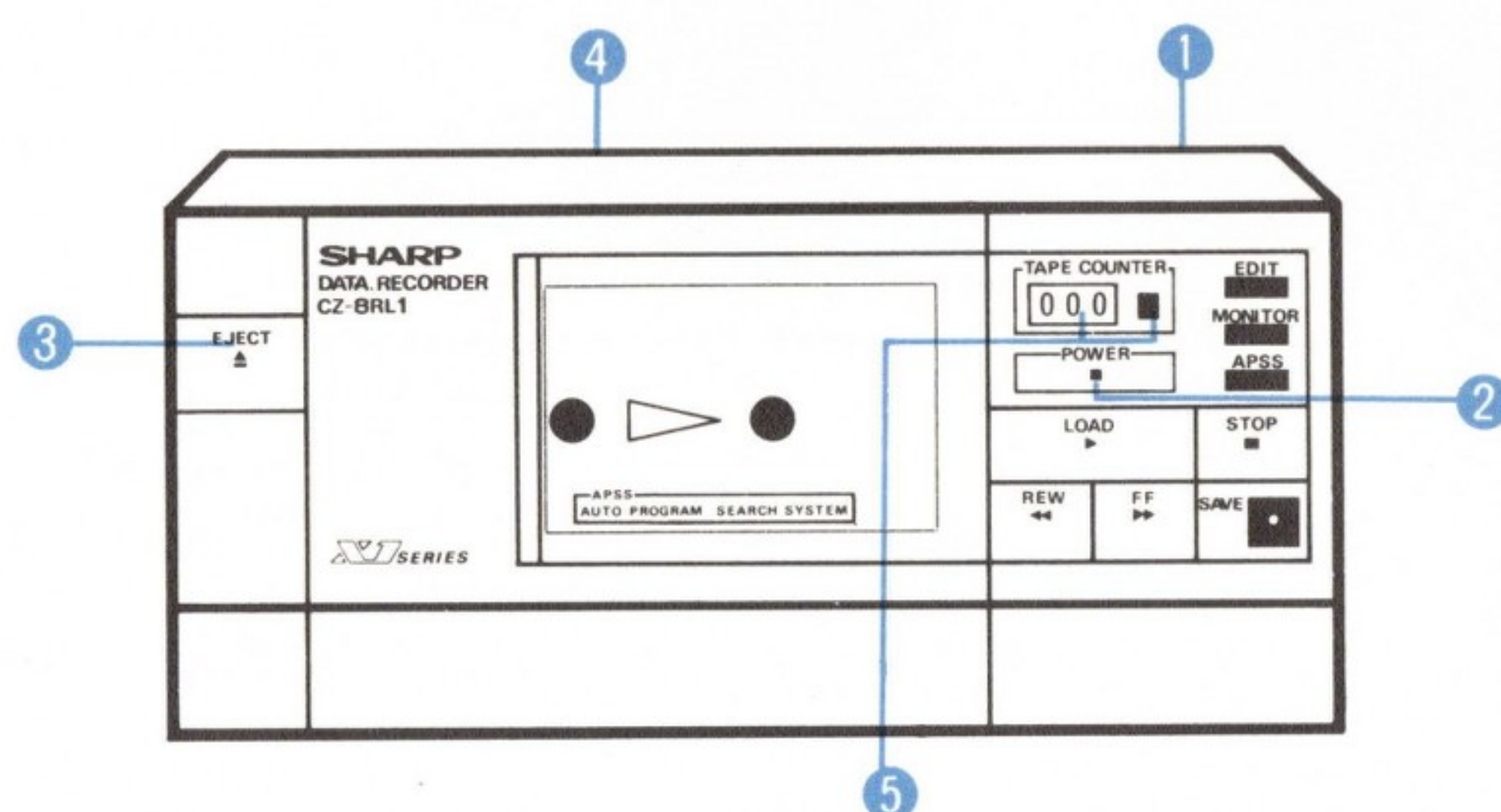
(ii) IPL時からのLOAD

パーソナルコンピュータの初期メニュー画面から[]キーを押すか、または[]キーを押しながら、パーソナルコンピュータの電源を入れます。

LOADインジケータが点灯し、実行しおわると、インジケータが消え、停止状態になります。

(2) SAVE(録音)をするには

番号の順に操作してください。



- ①セット背面の電源スイッチを押して電源を入れます。
 - ②電源が入れば、インジケータが点灯します。
 - ③カセット取出しボタン(EJECT)を押してカセットケースをあけ、テープを入れます。
 - ④セット背面のスイッチを次のように設定します。
 - フェーズ PHASE : ノーマル NOR ()
 - ボーレート BAUD : ハイ HIGH ()
 - モード MODE : コンピュータ COMPUTER ()
 - ⑤リセットボタンを押してテープカウンタを "000" にします。
 - ⑥パーソナルコンピュータ側で、SAVEコマンドを実行します。
- すなわち、

SAVE "CAS:ファイル名"

または SAVEM "CAS:ファイル名" (マシン語の場合)

SAVEインジケータが点灯し、実行しおわると、インジケータが消え、停止状態になります。

★SAVEが終了したら正しくSAVEされたかどうか、必ずベリファイを行なって確認をしてください。

すなわち、巻き戻しサーチ(REW・APSS)(11ページの(3)―(ii)“巻き戻しサーチ”を参照してください。)を使い、カセットテープをSAVE前の位置に戻し

VERIFY "CAS:ファイル名" を実行してください。

〔注意事項〕

- SAVE中、途中でSAVEを止める場合、コンピュータ側のキーボードで **SHIFT** + **BREAK** を押して行なってください。本機のSTOPキーを押しても、コンピュータが止まらない場合や、コンピュータ、データレコーダ両方とも正しく止まらない場合があります。

(3) APSS(Auto Program Search System)機能

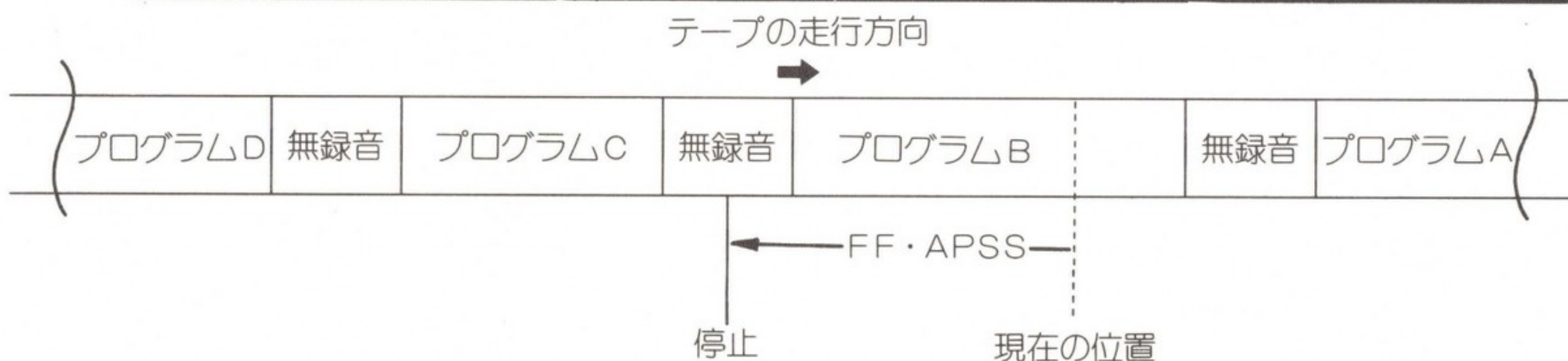
この機能は、プログラム間の無録音部分を検出して、プログラムの頭出しを行なう機能です。

(i) 早送りサーチ(FF・APSS)

本機が停止状態のとき、次の順序で行なってください。

なお、APSSの待期状態(FF/REW共にインジケータが点滅している。)を解除するには、STOPキーを押してください。

操 作	動 作 / 状 態
①APSSボタンを押す	FF/REW共にインジケータが点滅する。
②FFキーを押す	REWが消えFFインジケータのみ点滅し、FF・APSS状態となる。プログラムの頭出しをして停止状態となる。FFインジケータが消える。

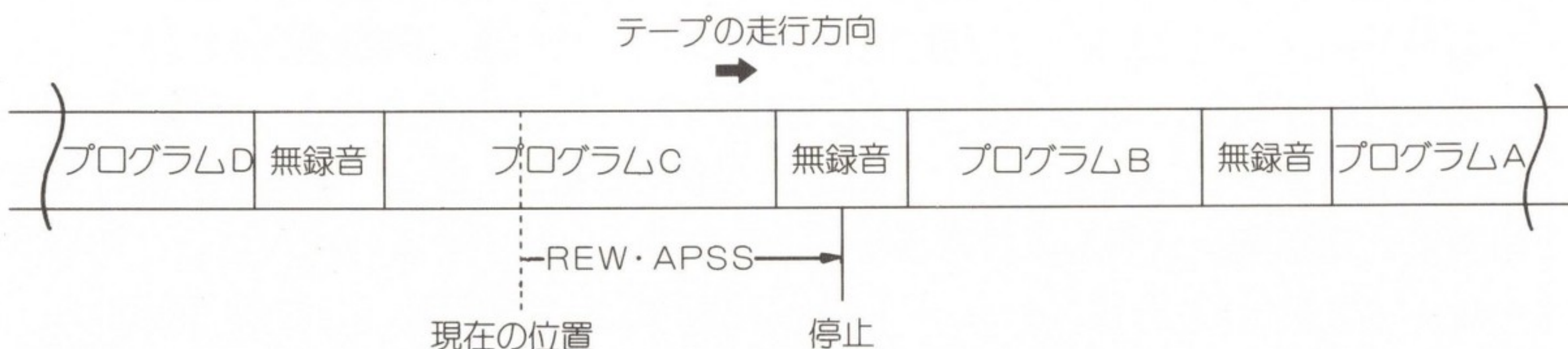


(ii) 巻き戻しサーチ(REW・APSS)

本機が停止状態のとき、次の順序で行なってください。

なお、APSSを解除するには、STOPキーを押してください。

操 作	動 作 / 状 態
①APSSボタンを押す	FF/REW共にインジケータが点滅する。
②REWキーを押す	FFが消え、REWインジケータのみ点滅しREW・APSS状態となる。プログラムの頭出しをして、停止状態となる。REWインジケータが消える。

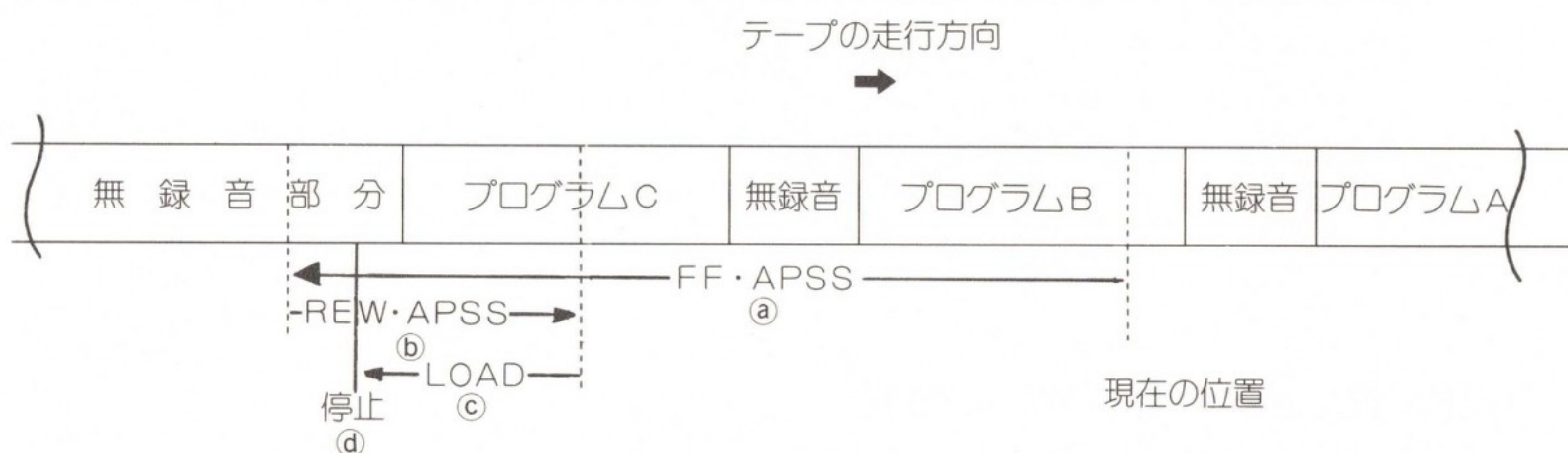


(iii) 録音サーチ (REC・APSS)

本機では、上記の2種のAPSS機能に加え、録音サーチ——SAVE可能なポジションを捜し、頭出しを行なうこともできます。本機が停止状態のとき、次の順序で行なってください。

なお、APSSを解除するには、STOPキーを押してください。

操 作	動 作 / 状 態
① APSSボタンを押す	FF/REW共にインジケータが点滅する。
② SAVEキーを押す	① REWが消え、FFインジケータのみ点滅しFF・APSS状態となる。 ② FFインジケータが消え、REWインジケータが点滅しREW・APSS状態となる。 ③ LOADインジケータが点灯し、LOAD状態となる。 ④ プログラムの最後を検出し停止状態となる。LOADインジケータが消える。これでSAVE可能なポジションで停止状態となっています。



〔注意事項〕

本機のAPSS機能は、プログラム間の無録音部分（約5秒以上）を検出することによって、各動作を行なっています。したがって、次のような場合は、正常な動作が行なわれないことがありますので、注意してください。

- ① プログラム間の無録音部分が短かすぎる場合。
- ② プログラム間の無録音部分に雑音がのっている場合。
- ③ 録音レベルの低いテープを使用した場合。
- ④ 録音サーチ(REC・APSS)でプログラム間に1分以上の無録音部分がある場合、SAVEが可能と判断されます。長いプログラムをSAVEすると、あとに記録されているプログラムが消去されてしまいます。録音サーチ (REC・APSS) を使用するときには特に注意してください。

(4)コンピュータコントロール機能

パーソナルコンピュータCZ-851C/852Cから、BASICコマンドによって、本機のコントロールができます。

- 次の順序に従ってBASICを起動してください。

- ①パーソナルコンピュータCZ-851C/852Cのキーボードの[HELP]キーを押しながら、コンピュータの電源スイッチ(POWER)を入れます。
- ②ディスプレイテレビの画面上に次のメッセージが表示されるまで[HELP]キーを押し続けてください。

```
SHARP HuBASIC CZ-8FB02 Version1.0  
Copyright (C) 1984 by SHARP/Hudson  
74493 Bytes free  
Ok  
NEWON
```

- ③NEWONと表示されますので、間隔をあげずに[↵]キーを押すか、または [9][↵]キーを順に押してください。
- ④[↵]キーを押した場合、すべてのコマンドステートメントが使用できます。
[9][↵]キーを順に押した場合、次のコマンドステートメントが使用できなくなります。
MIRROR\$, KANJI\$, DTL, RANDOMIZE,
WAIT, KEYLIST, KLIST, KBUF, CANVAS,
LAYER, TVPW, CHANNEL, VOL

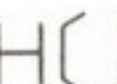
なお、詳しくはパーソナルコンピュータCZ-851C/852Cに同梱されている“BASIC リファレンス マニュアル”2-1-2 NEWON または“ユーザズマニュアル”2章フリーエリアについて⑤NEWONとフリーエリアを参照してください。

- パーソナルコンピュータ側からデータレコーダをコントロール可能なBASICコマンドには、次のようなものがあります。

各コマンドの使い方は、CZ-851C/852Cに同梱されている“BASIC リファレンス マニュアル”をご覧ください。

```
EJECT, CSTOP, FAST, REW, APSS, CMT  
FILES/LFILES, LOAD/LOADM, SAVE/SAVEM  
LOAD?/VERIFY, CHAIN, MERGE, OPEN  
CLOSE, PRINT#, WRITE#, INPUT#  
LINPUT#/LINE, INPUT#, DEVI$, DEVO$, INIT
```

なお、各コマンド操作を行なう前に、セット背面のスイッチが次のように設定されているか、もう一度確認してください。

- フェーズ ノーマル ボーレート ハイ モード コンピュータ
- PHASE:NOR[]
 - BAUD:HIGH[]
 - MODE:COMPUTER[]

ご注意

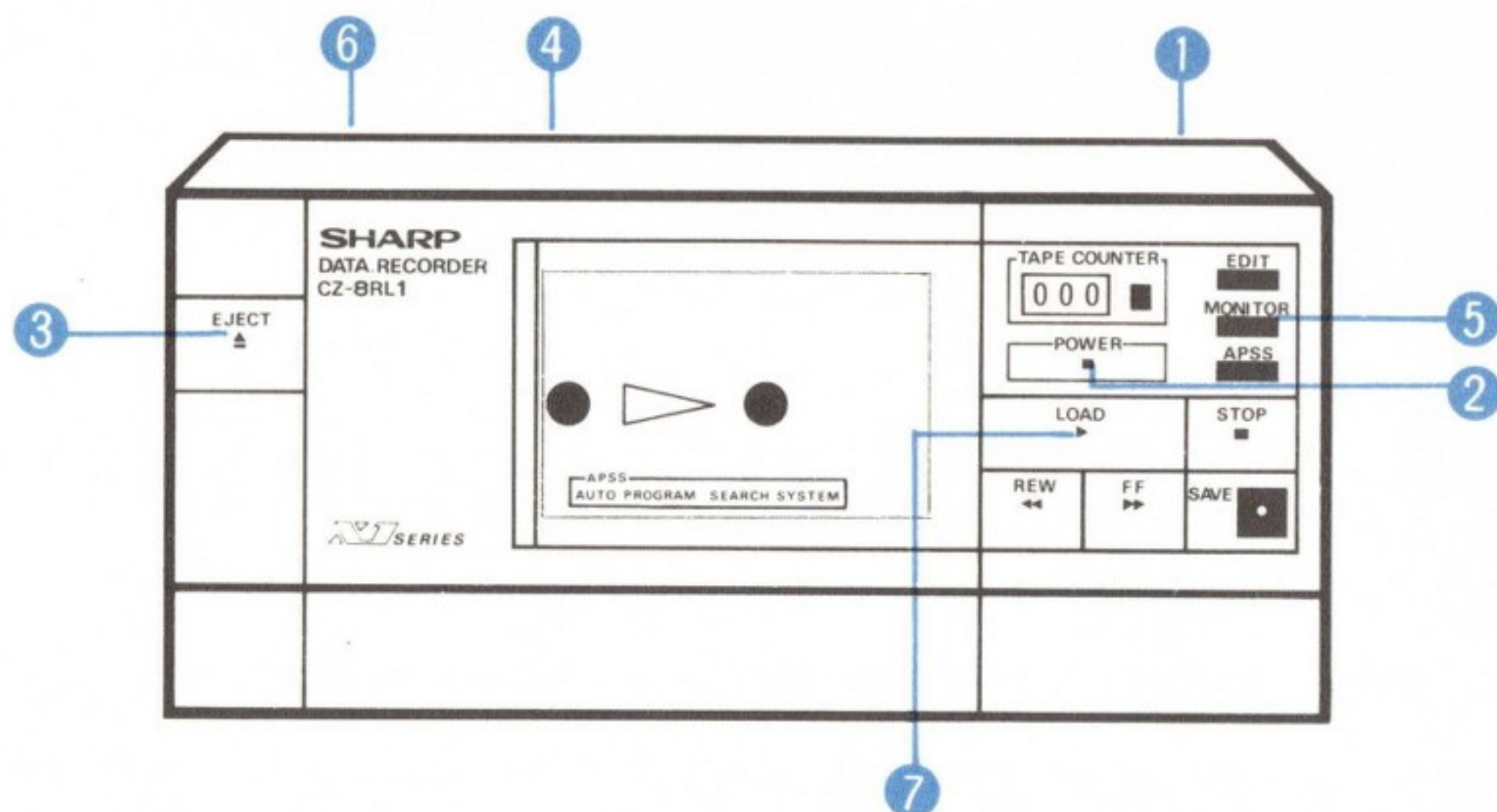
コンピュータモードにて、パーソナルコンピュータCZ-851C/852Cからプログラムによりカセットの現在の動作モードやカセットの状態（テープ装着の有無等）を繰返し読み出している時には、パーソナルコンピュータのキーボードからの入力を受け付けにくくなる場合がありますので、注意してください。

2 シャープパーソナルコンピュータCZ-851C/852C以外のパーソナルコンピュータ用として使用する場合(パーソナルコンピュータCZ-802Cも同様)

各操作を行なう前に、8ページの“CZ-851C/852C以外のパーソナルコンピュータとの接続”に従い、もう一度確認してください。

(1)LOAD(再生)をするには

番号の順に操作をしてください。



①セット背面の電源スイッチを押して電源を入れます。

②電源が入れば、インジケータが点灯します。

③カセット取出しボタン(EJECT)を押してカセットをあけ、テープを入れます。

④セット背面のスイッチを次のように設定します。

●フェーズ : ノーマル
●PHASE : NOR ()

●ボーレート : ロー
●BAUD : LOW ()

ハイ
HIGH () (CZ-802Cの場合)

●モード : マニュアル
●MODE : MANUAL ()

⑤テープにSAVE(録音)されている、プログラムやデータを音で確認したいときは、MONITORボタンをON()にします。

⑥セット背面のMONITOR VOLつまみで、音量を調節します。＊

⑦(i)リモートジャックを使用している場合

LOADキーを押します。LOADインジケータが点滅し待期状態になります。

次にパーソナルコンピュータ側で、LOADコマンド(再生命令)を実行します。

詳しくは、パーソナルコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

LOAD後、LOADインジケータが点滅し、再び待期状態となります。(再びLOADする場合は、LOADコマンドを実行してください。)STOPキーを押すと点滅が消えて停止状態になります。

(ii) リモートジャックを使用していない場合

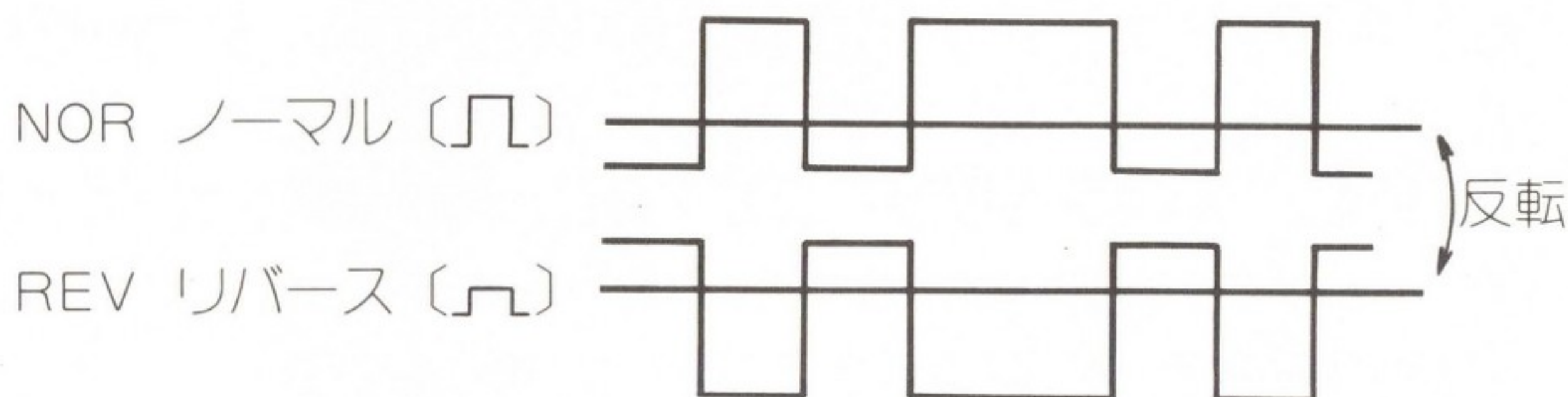
パーソナルコンピュータ側で、LOADコマンド(再生命令)を実行します。
次にLOADキーを押します。LOADインジケータが点灯しLOADが実行されます。

コンピュータがLOADコマンドを実行しおわったらSTOPキーを押して、カセットテープを停止させてください。

※ CMT OUTのレベルはMONITOR VOLで可変します。

LOADミスをおこした場合は、MONITOR VOLつまみを調節し、CMT OUTのレベルを適度なレベルに合わせてください。

(注) 市販のソフトテープの中には、信号の位相が、逆相になっているものがあります。
万一、市販のソフトテープがまったくLOADできない時や、LOAD中にエラーが出た場合は、逆相になっている可能性がありますので、セット背面にある
^{フェーズ} PHASEスイッチを^{ノーマル} NORから^{リバース} REVに切り換えて、再度LOADを試みてください。

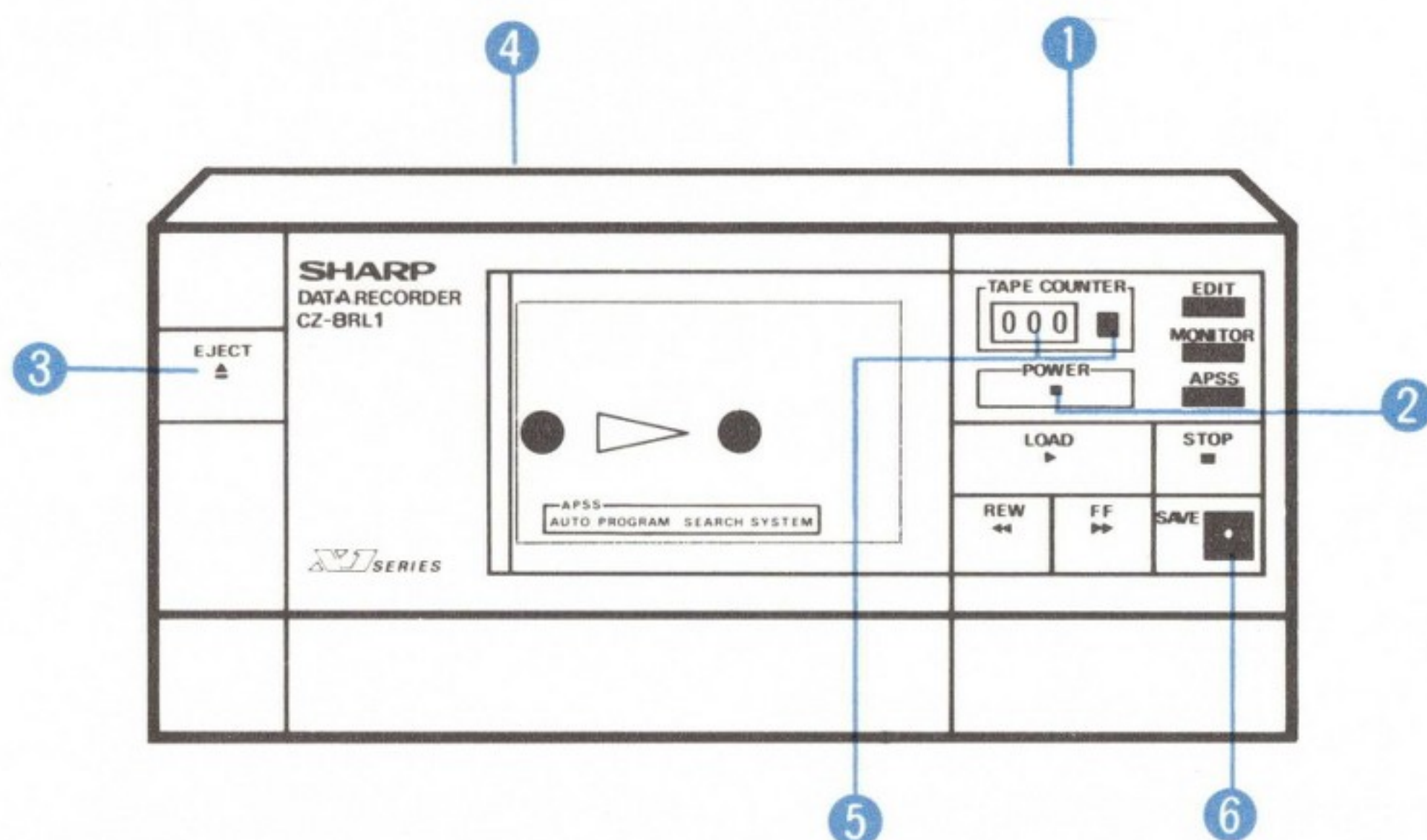


また、ボーレート(データ転送速度)が、適していない可能性がありますので、ボーレートスイッチを^{ロー} LOWから^{ハイ} HIGHに切り換えて、再度試みてください。

(ただし、CZ-802Cは、切り換える必要はありません。^{ハイ} HIGHのままで使用してください。)

(2) SAVE(録音)をするには

番号の順に操作をしてください。



- ①セット背面の電源スイッチを押して電源を入れます。
- ②電源が入れば、インジケータが点灯します。
- ③カセット取出しボタン(EJECT)を押してカセットケースをあけ、テープを入れます。

- ④セット背面のスイッチを次のように設定します。

- ^{フェーズ} PHASE : ^{ノーマル} NOR []
- ^{ボーレート} BAUD : ^{ロー} LOW []
- ^{ハイ} HIGH [] (CZ-802Cの場合)
- ^{モード} MODE : ^{マニュアル} MANUAL []

- ⑤リセットボタンを押してテープカウンタを“000”にします。

- ⑥(i)リモートジャックを使用している場合

SAVEキーを押します。SAVEインジケータが点滅し待期状態になります。次にパーソナルコンピュータ側で、SAVEコマンド(録音命令)を実行します。詳しくは、パーソナルコンピュータの取扱説明書をご覧ください。SAVE後、SAVEインジケータが点滅し、再び待期状態となります。(再びSAVEする場合は、SAVEコマンドを実行してください。)
STOPキーを押すと点滅が消えて停止状態になります。

- (ii)リモートジャックを使用していない場合

パーソナルコンピュータ側で、SAVEコマンド(録音命令)を実行します。次にSAVEキーを押します。SAVEインジケータが点灯しSAVEが実行されます。コンピュータがSAVEコマンドを実行しおわったらSTOPキーを押して、カセットテープを停止させてください。

★SAVEが終了したら正しくSAVEされたかどうか、必ずベリファイを行なって確認してください。ベリファイの方法については、パーソナルコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

(3)APSS(Auto Program Search System)機能

11ページ 1-(3)“APSS機能”に従い操作してください。

(4)無録音部分をつくるには(EDIT機能)

APSS機能を活用するため、SAVEの前または、SAVEのあとに必ず約5秒以上の無録音部分をつくっておいてください。

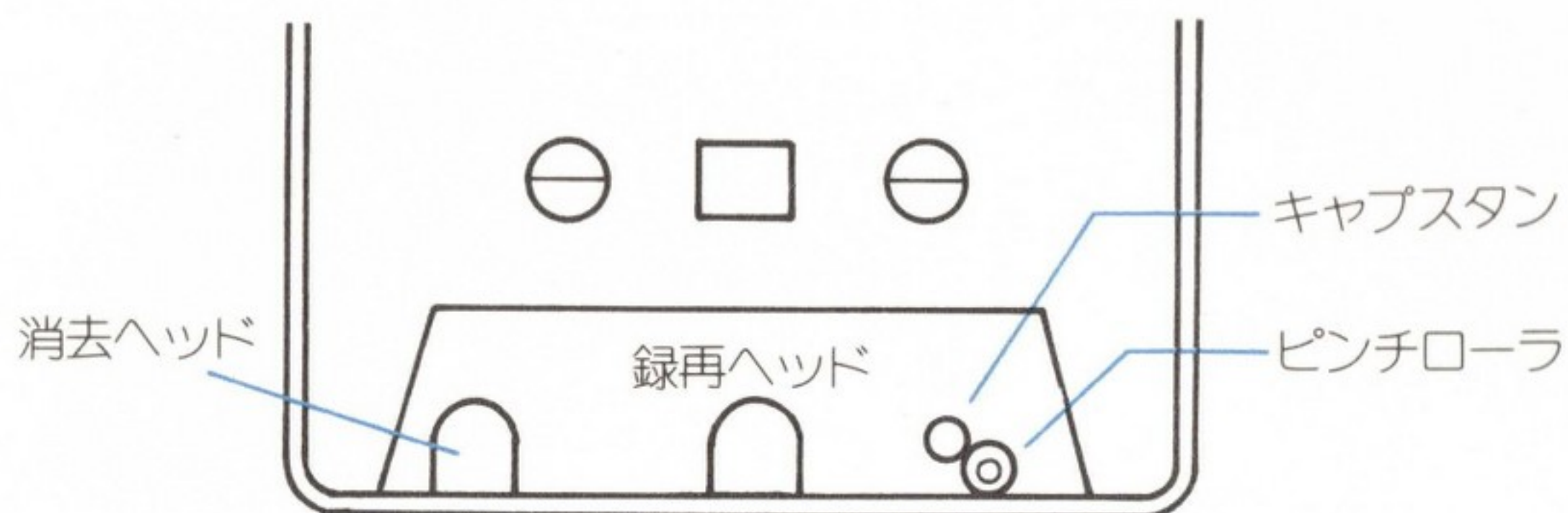
- ①リモートジャックをぬきます。
- ②EDITスイッチを押したまま、SAVEキーを押します。
- ③約5秒間以上その状態で、無録音部分をつくってください。
- ④STOPキーを押し、停止させてください。

- 本機を常に最良の状態で使用していただくために次のお手入れを定期的に行なってください。

(1)ヘッド、ピンチローラ、キャプスタンの清掃について

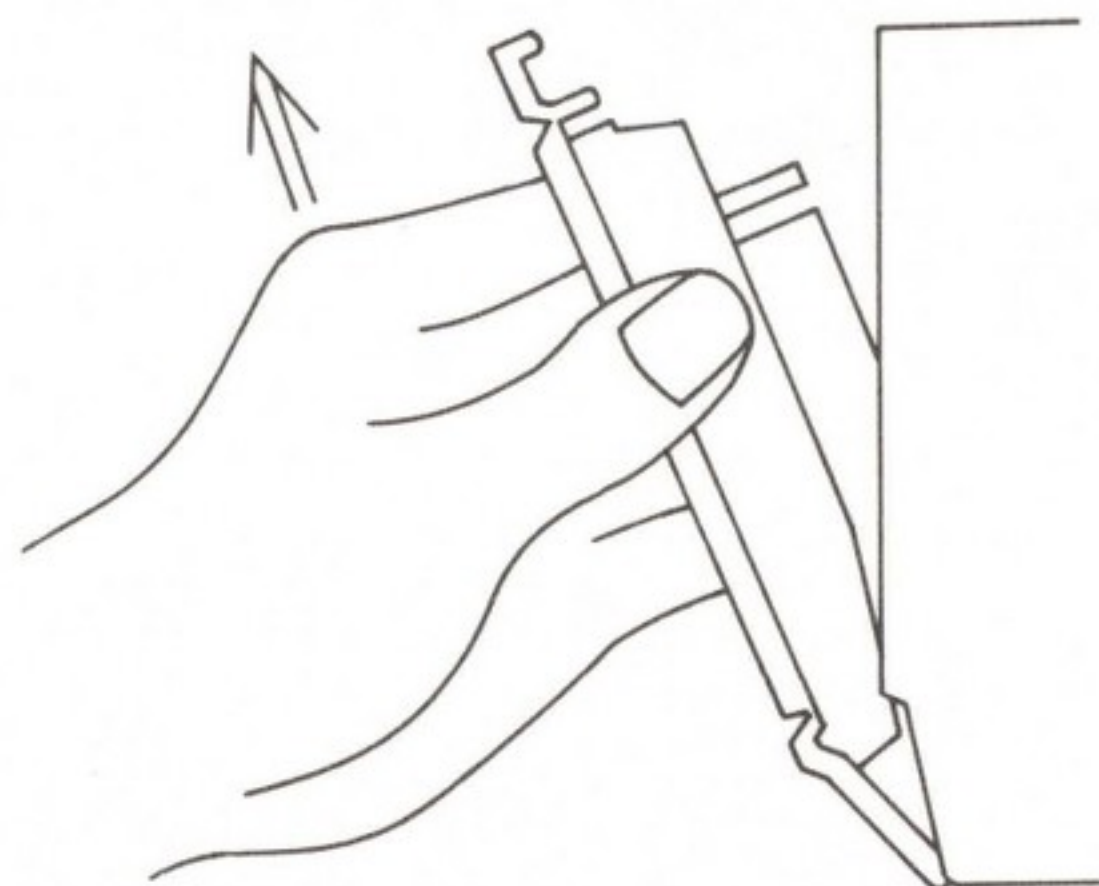
テープとの接触面にゴミやホコリが付着すると、正常なLOAD、SAVEができないほか、テープをいためる原因となります。電源を切ってからカセットケースをはずして市販されている綿棒、クリーナ液できれいにふき取ってください。

(注) 必ず、液が乾いてから使用してください。



カセットケースのはずしかた

- ①カセット取出しボタンを押し
カセットケースをひらきます。
- ②右図のように横からカセット
ケースを持ち、そのまま矢印
の方向に軽く持ち上げます。
- ③カチッと音がしてはずれます。



(2)ヘッドの消磁

長時間の使用でヘッドが磁化されます。LOAD、SAVEのとき、雑音が入ったり、音質が悪くなりエラーの原因となります。市販の消磁器で、ヘッドを消磁してください。

(注) ヘッドにはドライバー、ピンセットなどを近づけないでください。

●本機をパーソナルコンピュータCZ-851C/852C以外のコンピュータにお使いの場合

修理に出される前に次の点をもう一度お調べください。

症 状	原 因	処 理
カセットが入らない	●カセットの向きが逆になっていませんか。	●テープ面を下にして正しく入れてください。
SAVEができない	●カセットの入れ忘れではないですか。 ●カセットのツメが折れていませんか。 ●COMPUTERモードになっていませんか。	●カセットを入れてください。 ●ツメの穴をテープでふさいでください。 ●背面のMODEスイッチをMANUALにしてください。
LOADができない	●COMPUTERモードになっていませんか。	●背面のMODEスイッチをMANUALにしてください。
リードエラーが発生する	●ボーレートはあっていますか。 ●位相が反転していませんか。 ●LOADレベルはあっていますか。	●BAUDスイッチを確認してください。 CZ-802C:HIGH その他のコンピュータ:LOW ●PHASEスイッチをREVにして、もう一度LOADしてみてください。 ●MONITOR VOLつまみを調節し、CMT OUTのレベル(Loadレベル)を適度なレベルに合わせてください。
SAVEしたプログラムがベリファイで見あたらない	●MONITOR VOLが最小になっていませんか。 ●CMT IN、CMT OUTのジャックが逆になっていませんか。	●MONITOR VOLを右に回してください。 ●CMT IN……赤 CMT OUT……白 にしてください。
テープがピンチローラ、キャブスタンにまきつく	●ピンチローラ、キャブスタンは汚れていませんか。	●綿棒、クリーナ液で清掃してください。

■アフターサービスについて

(1)故障または異常が生じたときは、使用をやめて、差し込みプラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店もしくはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご連絡してください。

本機は精密機器ですので、ご自分での修理は避けてください。

故障のままお使いになったり、ご自分での修理は危険です。

(2)ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼できない場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■保証について

(1)本機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みいただき大切に保存してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

(2)保証期間中、万一故障した場合は保証書記載内容に基づき、修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

■補修用性能部品について

当社は、このデータレコーダの補修用性能部品を製造打切後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

回路方式……2トラック2チャンネル
 テープ速度……4.75cm/sec
 録音方式……直流バイアス
 消去方式……直流消去
 ワウ・フラッタ……0.1%(WRMS)以下
 周波数特性……600~10,000Hz
 消費電力……13W(待機5W)
 電源……AC100V 50/60Hz
 内蔵スピーカー……8Ω 5.7cm
 CMT INジャック……3.5φ
 (入力インピーダンス 600Ω、入力感度1mV)
 CMT OUTジャック…3.5φ
 (適合負荷8Ω以上)
 REMOTEジャック……2.5φ
 COMPUTER CONTROLジャック……DIN7ピン
 寸法……225(幅)×150(奥行)×109(高さ)
 重量……2.6kg
 付属品……取扱説明書(1)、保証書(1)
 お客様ご相談窓口一覧表(1)

シャープ株式会社

本社 〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話 06 (621) 1221 (大代表)
電子機器事業本部 〒329-21 栃木県矢板市早川町174番地
電話 02874 (3) 1131 (大代表)

お客様へ 修理依頼の年月日、お買いあげ店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ年月日	年 月 日
お買いあげ店名	
	電話番号
もよりの お客様ご相談窓口	
	電話番号

T0544-A